

令和5年度南三陸町議会12月会議 一般質問通告書

通告1番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 農地の「地域計画」策定の進め方について

質問の相手 町長

質問の要旨 人口減少や高齢化の進展により農業者の減少、耕作放棄地の拡大が進み地域社会の不安要素の一つとなっている。

こうした状況を鑑み、当町では先に地域計画策定に向け営農意向調査が行われているが、現段階の進捗状況と当事業にかかる以下の諸課題にどう対応するのか伺う。

- ・ 当町における営農意向調査の結果と課題対応について
- ・ 当事業の進行スケジュールについて
- ・ 当事業の対象外地域への今後の取り扱いについて

2件目

質問事項 障害者への「合理的配慮」義務化の対応について

質問の相手 町長

質問の要旨 障害者差別解消法が改正され、障害のある人から生活上のバリアー（障壁）を取り除くよう求められたとき、過度に負担にならない範囲で対応する「合理的配慮」の提供が令和6年4月から義務化される。

ついては、この制度変更にかかる以下の点について伺う。

- ・ 当町における「合理的配慮」の現状と今後の対応について
- ・ 企業等の事業者への周知対応について
- ・ 環境整備等への町の支援施策について

通告2番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 総合計画について

質問の相手 町長

質問の要旨 第3次総合計画の策定が前倒しで進められているが、内容を見直す必要があるのではないか。

- 1 パブリックコメントではどのような意見があったか。
- 2 2年早く第2次から第3次へ移行するが、前倒しする理由は。
- 3 まちの将来像について「森里海ひといのちめぐるまち南三陸」を「ひと森里海いのちめぐるまち南三陸」と、一部の言葉の順番だけを入れ替えたのはなぜか。
- 4 内容を再検討する必要があるのでは。

## 2 件目

質問事項 町職員の人事等について

質問の相手 町長

質問の要旨 職員数が減る中で行政サービスを低下させないため、効率的な事務執行が求められるが、改善すべき点はどこにあると考えているか。

- 1 行政事務の遂行にあたっての課題は。
- 2 時間外勤務の実態は。対策は必要ないか。
- 3 行政管理課の今後は。
- 4 副町長を2人置く考えは。
- 5 監査委員には専門家を配置すべきでは。
- 6 これからの町を支えていく若手職員の力はとても重要と思うが、どう育てていくのか。

通告3番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

## 1 件目

質問事項 入谷指定避難所への道路整備の考えは

質問の相手 町長

質問の要旨 入谷には町で指定している避難所が2か所ある。今年も小学校において災害時における児童、保護者、先生との間で子どもたちの引き渡しの訓練が道路を一方通行にして行ったそうだが、大変苦勞されたと聞いている。これらを解消するために次の点を伺う。

- 1 周辺道路の雨水対策と道路の拡張工事の計画は。
- 2 外灯設置の考えは。
- 3 公民館下の駐車場の雨水対策は。

## 2 件目

質問事項 橋梁の架け替えの計画は

質問の相手 町長

質問の要旨 小森熊田橋については、以前町の調査において経年劣化が激しい橋の一つだといわれている。日常朝夕において交互通行により通行に支障を少なくともきたしている橋だと思う。国道でもしばしば数台車がつながる時も何度も見受けられる。とにかくこの橋をスムーズに通行できるように計画が必要と思うが町の考えを伺う。

- 1 今の橋があるうちに架け替える考えはないか。
- 2 付近の被災護岸と道路復旧の遅れている要因は。
- 3 河川の支障木の伐採の計画はないか。

通告4番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 自然環境変化に対応する農林水産業の振興施策について

質問の相手 町長

質問の要旨 今夏は記録的な高温が続きました。高温環境は当町の第一次産業にも大きな影響を与えました。今後も環境変化が続けば、生産量低下や生産物の品質の低下だけでなく価格の不安定な変動に繋がっていくのではないかと危惧しております。しっかりとした対策は急務であると考え、以下の点について伺う。

- 1 今後の水産業における未利用魚の活用や新たな養殖事業の展開、及び陸上養殖事業の展開について町としてはどのように考えるか伺う。
- 2 高温耐性野菜の作付け促進の考えはあるか伺う。
- 3 自伐型林業の促進、今後の林業振興をどのように考えるか伺う。
- 4 農林水産業と観光施策連携及び移住定住施策を連動させる施策は可能か伺う。
- 5 南三陸町らしい自然循環型地域産業の基盤整備をしていく上で今後の必要な施策をどのように考えるか伺う。

2件目

質問事項 地域福祉計画の策定進捗と地域福祉の充実について

質問の相手 町長

質問の要旨 現在、地域福祉計画策定についてはさまざまなプロセスを経て進んでいると思うが、地域包括システム構築、2025年問題への取組が急務な状況において地域福祉計画の充実は今後の町民のみなさまの福祉向上の観点からも重要と考える。地域福祉環境をより高めていくための基盤となる計画の内容について以下の点を伺う。

- 1 地域福祉計画と障害者計画策定における基本理念と現計画からの変更ポイントはどのようになっているか伺う。
- 2 社会福祉協議会の地域福祉活動計画と連動しているか。また計画の運営、評価を行える仕組みづくりがされているのか伺う。
- 3 物価高騰などで生活困窮者の増加傾向が顕著だが、フードバンクや子ども食堂の支援などの強化を図る計画はあるか伺う。
- 4 成年後見制度の利用促進、国の示す「再犯の防止等の推進に関する法律」に基づき、「地域再犯防止推進計画」の策定はされているか。今後2つの制度の推進をどのように考えているか伺う。
- 5 日常生活自立支援員について、今後の育成計画を伺う。

通告5番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

質問事項 農業施策の現状と課題について

質問の相手 町長

質問の要旨 一次産業をベースとした地域資源が豊富な当町において、地域密着型産業の課題解決は重要な位置づけにある。復興から次の展開に向け、ほ場整備や新規就農者、新規作物の推進など多角的に取り組んでいることが伺えるが、人口減少や高齢化、後継者不足は続いており、問題は広がりつつ深まり、農業全般に活気が感じられない現状と推察される。ひとつひとつの試みがしっかりと根を張り、実を結ぶ力にするための具体的な支援策を伺う。

- 1 ほ場整備、組合の活動の現状と課題について
- 2 新規就農、新規作物の推進の現状と課題について
- 3 遊休農地、耕作放棄地等の具体的な施策は
- 4 今後における新たな展開、ストーリーは

通告 6 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 震災復興事業平成 24 年から令和 4 年までの実績について

質問の相手 町長

質問の要旨

- 1 復興事業費総額と復興予算 4,000 億円に係る返還金を伺う。
- 2 復興計画は予定通り実施され、100%完了されたのか伺う。
- 3 復興計画から落ちたものや復興庁に上げたが認められなかったものがどの位あるのか伺う。
- 4 震災後町道など手つかずの道路がある。例えば西戸など今後復興予算がないので、どのように整備していくのか伺う。
- 5 落沢線は工事車両とグリーンロードから最短距離で往来出来た。その時から道路が壊れたままであるが、今後の見通しを伺う。
- 6 震災前歌津漁協が管理していた荷揚場や冷蔵庫などの復旧事業計画の行方を伺う。
- 7 魚竜館や水産振興センターの復旧計画と今後の推移を伺う。

2 件目

質問事項 町内の道路整備計画と防災計画について

質問の相手 町長

質問の要旨

- 1 町の道路整備計画は出来ているのかどうか伺う。
- 2 町道蒲の沢 3 号線の舗装工事と県道清水浜線から入口の拡幅工事の必要性をどのように考えているか伺う。
- 3 さんさん商店街付近で以前防災訓練を実施したが、訓練参加者が主にどこに避難されたのか。国道を通行車両の誘導や警察の協力などはあったのか伺う。
- 4 今年の防災訓練はそれぞれの地区で行ったようだが、その成果を伺う。
- 5 有事の際の訓練で国道渋滞を想定していないが、戸倉方面から八幡川を通らないで入谷方面に通ずるルートがない事は被災地でありながら防災上

も納得がいかない。どのように考えているのか伺う。

- 6 避難訓練で祈念公園から高校まで避難した人はいたのかどうか。どう考えても高校までの道路は迷路である。被災地の道路計画はお粗末と言われ  
ないように、もう一度見直してはどうか。